

熊本地域医療センターだより

通算182号
7月号

院長 杉田裕樹

令和2年(2020年) 7月発行

熊本地域医療センター電話番号(代表) 096-363-3311 FAX 096-362-0222

2020

かかってよかった。

紹介してよかった。

働いてよかった。

そんな病院をめざします。

熊本地域医療センター
理 念

contents

新任医師のご挨拶…………… P2～3

昇任のご挨拶…………… P3

たくさんのご支援
ありがとうございました…………… P4

皮膚科常勤開設しました！

皮膚科医長 いちはら 市原 あさこ 麻子



2020年4月から熊本地域医療センター皮膚科の常勤医として赴任しました市原麻子と申します。最初の4年間で麻酔科で研修し、その後皮膚科医となりました。熊本大学付属病院、熊本市市民病院、くまもと森都総合病院などで研修し、

大学院へ進学、2012年に皮膚科専門医を取得し、この3月に研究留学先のBostonより帰国致しました。消化器外科医の夫と小中学生の子供3人がおります。最近の息抜きは、キャンプ、登山、サイクリングなどのアウトドアです。どうぞよろしくお願い致します。

皮膚科は2016年以降、週3回の外来診療のみの非常勤体制でしたが、今年度より私、常勤医1名と外来診療のみ担当する非常勤医2名(熊本大学病院より)の体制となりました。火曜日は手術日で休診ですが、月・水・金が外来診察日となっており、入院治療にも対応しております。帯状疱疹・蜂窩織炎・白癬など皮膚感染症、アトピー性皮膚炎、乾癬、薬疹、皮膚腫瘍など皮膚科疾患一般を扱っています。特に当院では、2013年に小児アレルギー外来開設、2019年にアレルギー診療センターが設立され、食物アレルギー、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹

などに関しましては、アレルギー専門医、小児科医師とも連携して皮膚のみならず包括的な治療を行っております。また内科・外科では、分子標的治療薬など化学療法が多く行われており、それに伴う皮膚障害の副作用に関しては当科でフォローさせていただいております。外科的な治療が必要な疾患に対しては、外来日帰り局所麻酔手術、入院での局所麻酔・全身麻酔による手術に対応しています。検査につきましては、視診だけでなく、真菌菌検査、細胞診、ダーモスコピー検査、皮膚病理検査、また皮膚疾患は内臓疾患と関連がある場合もあり、他診療科との連携、CT、MRI、エコーなどの画像検査も必要時行っております。重篤な疾患、高度な専門性を要する疾患に関しては、熊本大学病院皮膚科・形成外科などとも連携し、ご紹介いただく幅広い皮膚疾患に対応できるように取り組んでおります。

皮膚疾患によって引き起こされる痛みやかゆみなどの不快な症状や外見上の問題は、quality of lifeを大きく低下させます。お困りの症例、些細なことでもぜひご相談いただければと存じます。疾患や治療だけでなく、日常生活の注意点、外用剤の使い方など丁寧な説明を心がけ、地域の先生方とも連携を図りながら、地域医療に貢献できるように取り組んで参ります。

外来担当医

	月	火	水	木	金
午前 (新患・再診)	澤田 (非常勤)	手術日	市原	島田 (非常勤)	市原
午後 (再診)	奇数週 澤田 偶数週 市原	手術日	市原	島田 (非常勤)	市原

新患受付：平日 8:30～11:00

診療時間：平日 9:00～17:00

当科受診の際には是非かかりつけの医療機関からの診療情報提供書(紹介状)を作成・持参下さい。

予約制。

新任医師のご挨拶



皮膚科（非常勤）
さわだ りえ
澤田 利恵

2020年4月より、前任の田中先生に代わりまして毎週月曜日に皮膚科外来を担当させていただいています、皮膚科の澤田利恵と申します。

出身は熊本で、高校までは熊本で暮らしました。岡山で大学時代を過ごし、卒業後に熊本大学病院で研修し、熊本大学病院皮膚科に入局。現在は、熊本大学病院に皮膚科非常勤医師として勤務しています。

育児との両立の中で、しばらくは午前だけの勤務となる日もあり、ご迷惑をおかけするかも知れませんが、限られた時間の中で精一杯頑張っていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。



皮膚科（非常勤）
しまだ かなこ
島田佳奈子

令和2年4月1日より皮膚科非常勤医師として赴任いたしました島田佳奈子と申します。前年度は国立病院機構熊本医療センターに在籍し、4月より熊本大学病院に勤務しております。大学病院では膠原病や水疱症などの自己免疫性疾患や悪性腫瘍などを中心に診療しております。平成31年度も地域医療センターで勤務させていただきましたので2回目の赴任となります。今回は木曜日の外来を担当致

します。

当科では common disease から抗がん剤による皮膚障害、褥瘡、感染症に至るまで老若男女、幅広い分野を診療します。多くの患者様のために貢献できるように日々努力して参りたいと存じます。至らぬ点多々あるとは存じますが、どうぞ御指導、御鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



放射線科
はやし ひでたか
林 英孝

本年4月より放射線科医として赴任致しました林英孝と申します。卒後5年目になります。3月まで熊本大学病院に勤務していました。当院では画像診断、透視、CTC、IVRが主な業務内容となります。また当院での特徴として消化器、呼吸器系の画像が多く、特に急性腹症の症例を豊富に経験することができます。救急疾患において画像が治療方針の決定の一助となることがあり、とてもやりがいを感じております。また、開業医の先生方から、様々な領域の読影のご依頼を

いただき、迅速かつ正確、的確なレポートの作成に努めてまいります。

まだまだ修行中の身ではありますが、松川先生、矢村先生に丁寧にご指導いただき、より良い放射線医を目指して行きます。時節柄、院内外での他科の先生方との交流も減っておりますが、早く他科の先生方とも連携を取りながら患者さんに最良の医療ができるように放射線業務を行っていこうと思います。精一杯頑張りますのでどうぞよろしくお願いいたします。



乳腺・内分泌外科
（非常勤）
ひだか かおり
日高 香織

この度令和2年4月より前任の藤木先生に代わりまして、地域医療センター乳腺・内分泌外科を担当させていただくことになりました。現在は熊本大学乳腺・内分泌外科に所属し、これまでも大学病院や熊本赤十字病院で多くの経験を積んで参りました。

乳腺疾患は良性から悪性まで多岐にわたり、現在乳癌罹患者も増加傾向にあります。治療に関しましても手術だけではなく、内分泌療法・化学療法・分子標的療法など様々な治療法が確立され、現在もいくつかの臨床試験が行われており今

後の乳癌治療も今以上に発展すると考えられます。甲状腺疾患についても検診により早期に発見されるようになり受診者も増加しております。乳腺・内分泌疾患に携わるものとして患者様と信頼関係を築きながら、より良い医療を提供できるよう最善を尽くして参りたいと考えています。

改めまして、地域医療センターを受診される患者様、関係者の皆様のご期待に応えられるよう精進して参る所存です。どうぞよろしくお願い申し上げます。



研修医
こいずみ だいかい
小泉 大海

初期研修医1年目の小泉大海と申します。熊本大学を卒業後、今年の4月から1年間、当院で研修させて頂く予定となっております。

生まれも育ちも熊本で、子供の頃は天草に住んでおりました。地元愛は人一倍あります。そのため医師としてまた熊本で働くことができることを大変嬉しく思います。

まだ当院でお世話になって日が浅いですが、諸先輩方から先生方はじめメディカルの皆さんも大変やさしく接して頂けるということを伺っておりますので、

その点では胸をなで下ろしているのと同じに、しかしながら一職員として1日も早く当院に貢献できるよう、ご指導・ご鞭撻を賜りながら日々研鑽していかなばと気を引き締めているところです。

今年に入り世界的な感染症が世の中を不安にさせており、私たち医療従事者の役割がより一層重要になっていると思います。そのような中で、未熟者でありながらも自分は今何ができるのかを日々考え、より良い医療を提供するべく努めてまいります。どうぞ今後ともよろしくお願いいたします。

昇任のご挨拶



放射線技師長
ふくしま としかず
福島 敏和

平素より先生方には大変お世話になっております。定年を迎えられた水本技師長の後任として、2020年4月より放射線技師長を拝命致しました。微力ながらも、熊本地域医療センター並びにご関係の皆様にも貢献できるよう努力していく所存です。

私はこれまで「常に丁寧な検査を心がける」をモットーに努めて参りました。私の思う“丁寧な”とは、患者さんへの丁寧な対応はもとより、読影される先生方のスムーズな診断につながるべく、高い診断精度を持つ画像を提供するという事です（放射線を使用した検査に関しては、画質を担保しつつ、被ばく低減に努

める事は当然としてですが…）。これは当院の病院理念にも通じる事だとも思っております。先生方には安心して検査をご依頼頂ければと思います。

今年度は2016年に認定を受けました「医療被ばく低減施設認定」の更新もあります。より一層“医療被ばく”についての見識を深め、知識と経験を身につけていかなければと思っております。これからも放射線部一同、患者さんや検査をご依頼頂いた先生方に信頼が得られるよう、安心安全な医療提供に努めて参ります。今後ともご指導ご鞭撻のほど、どうぞ宜しくお願い致します。

熊本地域医療センター勉強会中止のお知らせ

7月予定しておりました勉強会は、新型コロナウイルスの影響により中止いたします。

また、8月以降の開催も未定となっております。今後の状況を見ながら、当熊本地域医療センターだよりや医師会週報にて随時お知らせいたします。



熊本地域医療センター

- 医師へ直接紹介される方はこちら ☎096-363-3311 (代表)
- 何科に紹介するか迷っている場合はこちら (平日9:00~17:00)
- ※ベテラン看護師が対応いたします! ☎096-372-0600
- 画像診断・内視鏡などの検査予約はこちら(連携室) ☎096-366-1323

編集後記

Y ⇒ 開設してホヤホヤ、いきなりの「コロナ禍」で大変ですが、ようやく皮膚科開設の記事を載せることができました。当院の特徴でありますアレルギー診療の一翼を担っていただけたことはもとより、会員の先生方に愛される診療科の一つになっていただければと思います。皆さまよろしく願います。

K ⇒ 医療機関の職員さん、当院受診中の患者さんやご家族から、「大変でしたね。がんばってください!」等、心温まるお言葉をいただきました。これを励みに、より一層、感染防止に努めていきたいと思っております。

H ⇒ 前回に続き、今回もたくさんのご支援誠にありがとうございます。掲載している内容以外にも多くのご支援をいただきました。当院職員にとって、皆様の温かいご支援が何よりの励みとなっております。

たくさんのご支援ありがとうございました

熊本県果実農業協同組合連合会のご支援（先月号掲載）に続き、今回もたくさんのご支援をいただきました。

熊本県農業協同組合中央会より

- スイカ・メロン 各50玉ずつ



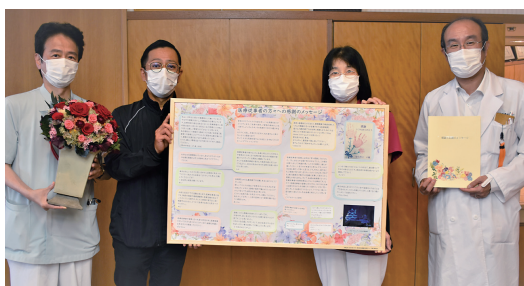
コカ・コーラシステム「Refresh Japan」プログラムより

- 各種飲料水 計120本



熊本市公園課を通して、市民の方々より

- ブリザードフラワー・メッセージボード



森水木のラン屋さん宮川洋蘭より

- 蘭 5点



コカコーラボトラーズジャパン株式会社より

- 各種飲料水 計600本



らくのうマザーズより

- 牛乳1000ml 480本



株式会社えがおより

- 青汁や黒酢をはじめとする食品系の製品 12種類



熊本県花き協会カーネーション部会より

- お花 2束



たくさんのご支援、誠にありがとうございました。これからも当センター職員一丸となって、安全・安心な医療を提供し「かかってよかった」と思っただけの病院であるよう、努めてまいります。